

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第350号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2016年1月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

あけましておめでとうございます

TOP*NEWS

野球部 センバツ「21世紀枠」の都推薦校に選出
軽音楽部 全国大会出場決定



都高野連から表彰状を受け取る嶋崎主将



東京都バンドフェスティバル準グランプリ受賞

新年を迎えて ～さらなる改革を目指して～



校長

片桐 知己治

新年あけましておめでとうございます。
2016年、新しい年の始まりです。

この1年を振り返ってみると、まずは、90%を超える高校3年生375名が東海大学に合格し、希望の専門分野に進学することが決まりました。昨年度台風のために中止となった剛健旅行を含め、その他多くの各行事は大成りに終わり、たくさんの思い出が創れました。

2015年度も高輪台の部活動は頑張りました。高校吹奏楽部が昨年引き続き名古屋国際会議場で行われた全国大会に出場して銀賞を受賞。ダンス部は「ダンスドリル選手権全国大会」「USA Competitions 2015全国大会」に連続出場。軽音楽部は「第3回 全国高等学校軽音楽コンテスト」に連続出場。大阪城

野外音楽堂で行われた「全国高等学校軽音フェスティバル」にも出場しました。さらに、秋の「第8回東京都高等学校対抗バンドフェスティバル」で準グランプリを受賞しました。柔道部は関東大会に連続出場。今年度は女子も関東大会に出場しました。以前秋の関東大会には出場経験のある卓球部も、今年度初めて春の関東大会に出場をしました。また、アーチェリー部の2年生、山下大輔君が3月26日から28日に静岡県で行われる全国選抜大会に出場を決めています。アーチェリー部の全国大会出場は2005年度が最後でしたので、10年ぶりの全国出場となります。全力で頑張ってほしいと思います。

東京都代表までには届きませんでしたが、野球部が秋季大会で都ベスト4まで進出し、準々決勝、準決勝2回の全校応援ができたことは、大きな感動を生みました。この活躍のため、本校野球部は、関東地区からは上尾高校が選ばれたため、残念

ながら甲子園に出場することはありませんでしたが、来春の第88回選抜高校野球大会の21世紀枠東京都推薦校に指定されました。また、アメリカンフットボール部が2年連続都ベスト8まで勝ち進みました。

この他、いろいろな部活動の試合応援に行かせていただきましたが、どこの会場でも熱心な保護者や家族の皆さんの応援、そして、駆けつけたOBの応援が選手たちを励ましてくれていました。

SSH活動も活発で、特に国際交流が進み、7月17日中国の高校生70名が来校してノーベル物理学賞を受賞した益川敏英先生の講演会・交流会、SSH発表会を実施。8月31日～9月6日にタイ チュラポーン・ハイスクール・トラン校来校。9月16日～24日にロシアガスプロム高校を私の引率で本校の高校生3名が訪問。10月15日新モンゴル高校来校。10月26日カザフスタン教育省来校。10月29日ガスプロム高校来校。12月16日～25日タイ チュラポーン・ハイスクールに松山先生引率で本校高校生3名が訪問など、多くの国々、高校生と交流しました。

7月には、本校創立70周年の記念事業として後援会の皆様

からタブレットPC Surface Pro3が650台寄贈され、本格的なICT教育がスタートしました。

昨年秋には、日本代表のワールドカップ3勝と南アフリカ戦歴史的勝利、7人制ラグビーの男女リオデジャネイロオリンピック出場決定と、昨年はラグビー日本代表の活躍に心が躍りました。ワールドカップ日本代表のキャプテンのリーチマイケル選手、プロップの三上正貴選手、フッカーの木津武士選手は東海大学の卒業生で、監督のエディー・ジョーンズ氏が1995年に初来日して初めてコーチをしたのが東海大学でした。その東海大学ラグビー部は、11月22日に流通経済大学を38-31で破り、関東大学リーグ戦で優勝しました。暮れから正月にかけて、ラグビー大学選手権や箱根駅伝が行われます。東海大学の活躍を応援したいと思います。

こうしたいろいろな活動が評価され、今年も中等部・高校の学校説明見学会には、たくさんの受験生が来校してくれています。間もなく中高の入試シーズンを迎えますが、東海大学の建学の精神に共鳴した新入生を4月にはお迎えしたいと思います。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

第88回選抜高校野球大会

21世紀枠 東京都推薦校に選出されて

野球部部长 高橋 光太

本校野球部が、上記の推薦を受けたことは、新聞紙上などですでにご承知のことと思います。推薦されました経緯は、これまでの野球部の実績に対する評価はもちろんのことですが、日頃から学業、生活上の指導をいただいている本校教職員、応援をくださった生徒、保護者や地元の皆様に対する東京都高野連の評価が非常に高かったからと聞いております。準々決勝・準決勝と全校応援も実施していただき、学校一丸となって力をいただき、野球部は元気づけられました。この場を借りて感謝いたします。

残念ながら12月11日のニュースで発表になりましたように、今回は東京都の21世紀枠推薦校に選出されたのみで、関東地区の代表には選出されませんでした。従いまして、選抜甲子園大会には出場できないこととなりました。

今後も21世紀枠推薦校に選出されたことに恥じないよう、選手は頑張っていくと思いますので、ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

平成27年度 東京都高等学校文化祭軽音楽部門中央大会 第8回 東京都高等学校対抗バンドフェスティバル 準グランプリ受賞

成長できた大会

バンドリーダー 2年7組 渡邊 直樹

軽音楽部のOverです。準グランプリをいただくことができました。昨年度にこの大会で先輩方はグランプリを受賞したので、2連覇するという意気込みで挑んだのですが、悔しい結果となってしまいました。しかしこのような賞をとれたのは、顧問の先生や保護者の皆さん、OBの先輩方、部員などの温かい支援があったからだと思えます。本当にありがとうございます。さらに演奏技術やバンドとしてのまとまりを高め、日々精進していきたいと思えます。これからも軽音楽部の応援をよろしくお願いいたします。



2015年度学校運営方針

2015年度の学校運営方針重点目標達成に向けての本校の取り組みを紹介します。

本校の取り組み PART.4

全教科によるSSH活動への積極的な取り組みと女子の理工系進学推進の研究を行う

教員間、教科間、学年間、分掌間等で連携を取り、チームワークを重視し、組織として生徒指導にあたる

SSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)は、文部科学省より指定を受けた学校が、科学技術系人材育成のため、先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との共同研究や、国際性を育むための取り組みを推進するものです。

本校は、2004年に最初の指定(3年間)を受けて以来、2007年に2期目の継続指定(5年間)、2012年に3期目の継続指定(5年間)を受けています。継続指定を受けるためには、常に新たな課題を設定していく必要があります。現在は「国際性を重視したプログラムの改善」、「国際的な科学技術コンテストへの参加」、「地域に広げる科学普及活動の展開」、「企業連携によるキャリア教育の推進」等の課題に取り組んでいます。

科学技術が社会の重要なインフラを支えていくこれからの時代は、理数の専門家であるか否かにかかわらず、科学的リテラシーは市民必須のものとなっていきます。本校のSSH活動には、理数系の教員だけでなく全教科の教員が携わっています。すべての教員の科学的リテラシーを高め、すべての教科で、生徒たちに未来を担う力を育てていきます。

また、生徒指導においても、すべての教員で取り組んでいく体制づくりをしています。

中等部合唱祭

11月19日合唱祭が行われました。どのクラスもこの日に向けてさまざまな困難を乗り越えてきました。本番当日、普段は見せない生徒たちの真剣なまなざしと、想像以上の素晴らしい歌声に感動させられました。美しいハーモニーを届けた3年生、来年がさらに楽しみな2年生、元気いっぱいの1年生、どのクラスにも大きな拍手を送りたいです。本当にお疲れさまでした。

指揮者賞

3年B組 阿部 翔

私は生涯、あの喜びを忘れないだろう。
私のクラスが呼ばれた瞬間の喜びを。
あの喜びを感じるまでいろいろな私があった。
重大な役割を担った時の私、
指揮の振り方がまだ初々しかった私、
怒鳴っていた私、指揮者を降りたいと思った時の私、
三冠のために練習していた私。
私は三冠のために練習を続けてきた。
三冠を取った時の喜びのために。
しかし、実際は違っていた。三冠を取った時の
喜びよりも、クラスが一つになれた
喜びが勝ったのだ。



伴奏者賞

3年B組 館野 ひとみ

中等部最後の合唱祭で三冠を取ることができて
本当にうれしかったです。
最初はみんなまとまっていなくて、
どうなるのかと不安でしたが、
最後はみんなで一致団結してできたのでよかったです。
曲も難しく、とても緊張しました。
プレッシャーもあって何度も
間違えてしまい後悔しましたが、
最後はうれし涙で終われてよかったです。

金賞

3年B組「大地讃頌」

今回の合唱祭は
良いスタートを切れたわけではありませんでした。
しかし、毎日練習をし、歌唱力が上がるとともに
クラスの絆も深まりました。
そして、本番当日、結果は三冠。
みんなの努力が実を結んだ瞬間でした。
阿部君、館野さんにはお疲れさまでと言いたいです。
最後の合唱祭はみんなで協力することができて
本当によかったです。
3B 級長：鯨岡 弘平



銀賞

2年A組

「生きている証」

銅賞

3年A組

「君とみた海」

生徒会新役員決まる

11月5日、生徒会役員選挙で次年度の役員が決定しました。今年はずべて信任投票でした。新役員の多くは新規の役員ですので、高輪台高校・中等部の活動がさらに良くなるよう力を注いでくれると期待しています。生徒の皆さんも新役員のもと、生徒会活動が活発になるように協力をしていきましょう。

中等部生徒会新役員

会長 2年 A組 亀山 歩花

副会長 2年 B組 渡邊 夏希

副会長 2年 B組 柴田凌太郎

会計 1年 A組 清水 凜

書記 1年 A組 桑野 峻行

高校生徒会新役員

会長 2年 7組 松川 弘樹

副会長 2年 7組 二宮 遼

副会長 1年10組 渡邊 花菜

会計 2年10組 浦 花果

会計 1年 9組 富永 萌

書記 1年 1組 鶴岡 亮久

書記 1年10組 中村 海裕



後列左から 清水さん、桑野君
前列左から 渡邊さん、亀山さん、柴田君



後列左から 富永さん、浦さん、鶴岡君、中村さん
前列左から 渡邊さん、松川君、二宮君

中等部生徒会会長

2年A組 亀山 歩花

今回、中等部生徒会会長になりました、2年A組の亀山歩花です。私は、去年一年間書記として生徒会活動をしてきました。そのなかで新入生歓迎会など新企画を実行したりすることが良い経験になりました。そのため、この経験を生かしてもっと良い企画を考えたいと思っています。また、責任を持って行動できるようにしたいです。そして、学校全体を活気づけられるように、生徒会一同協力して頑張りたいと思っています。ご協力よろしくお願ひします。

高校生徒会会長

2年7組 松川 弘樹

このたび、生徒会会長に就任しました2年7組の松川弘樹です。
私は、前生徒会役員において書記をやっていました。その際に先輩方からさまざまなことを学ぶことができました。その学んだことを生かして新しい生徒会では、前生徒会の時に初めて開催することができた前夜祭を、今年よりもさらに質の高いものにしていけるように、生徒会や建学祭の芸能部門の人たち等と協力して、共に頑張っていきたいと考えています。他には、今ある行事をさらに盛り上げていけるように頑張っていきたいです。
私は、生徒会会長として生徒会役員をまとめ、共に生徒の皆さんが楽しく、そして過ごしやすい学校にしていけるように頑張っていきますので、応援よろしくお願ひします。



生徒会旧役員の方皆さん、お疲れさまでした

学年だより 中1

～合唱祭～

11月19日(木)に合唱祭がありました。右も左もわからない状態でしたが、音楽の新井先生、中島先生、担任の先生方の熱い指導で毎日放課後に頑張って練習することができました。当日には多くの保護者の皆様にご来場いただきありがとうございました。初めての合唱祭はとても刺激になった行事であったようです。

A組 曲名『永遠のキャンパス』
(指揮:千葉俊、伴奏:望月ノア)

日々の積み重ね

A組 望月 ノア

僕は、今回の合唱祭を終えて、大事なものを見つけられました。それは「日々の練習の積み重ね」です。
夏休みに入る前、みんなで「永遠のキャンパス」という曲に決めました。僕は今のクラスにとってピッタリな曲だと思います。僕はどこかのパートではなく、「伴奏」を選びました。とても責任のある役割ですが、精いっぱい練習しました。最初のころの練習では、歌詞を覚えていないので、到底合わせることができませんでした。しかし、2週間くらい経過すると、皆それぞれのパートの音をつかんでいきました。練習をしていく中で、声量、テンポ、パートの音程が気になり、これはしっかり直さないと本番が恥ずかしいなと思いました。皆で協力し、放課後を使って毎日頑張りました。日々の成果が実ったのか、練習の時よりも大きな声が出て、改善点も良くなって素晴らしい合唱になりました。
結果発表が始まり、入賞することはできませんでしたが、皆で精いっぱい頑張ったので悔いはないです。でも、2、3年生になったら、金賞をとれるように頑張ります。

初めての合唱祭

A組 天野 葉月

中等部で初めての合唱祭があり、1年A組は「永遠のキャンパス」を歌いました。私のパートはソプラノで、ソプラノはメロディーなのに7人しかいなかったの、先生に何回も「ソプラノ、もっと声を出して」と言われました。私は高い声を出すのは得意ではないけれど、声を出しました。また、私は歌い終わった後にステージを最初に降りる人でした。練習した時はあまりうまくできなかったけれど、本番ではうまくいきました。でも、座席に座る場所がわからなくなって、少し間違えてしまいました。
賞をとることはできなかったけれど、皆が頑張ったのでよかったと思いました。来年も頑張りたいです。



A組

B組 曲名『Believe』
(指揮:豊島健太、伴奏:大石一葉)

初めて味わった達成感

B組 川瀬 遥

私は、合唱祭で歌った「Believe」は、何度も聴いたことがあり、とても歌詞がいい曲だなと思いました。しかし、皆で合わせて歌ってみたところ、声量が足りないと言われたり、何回も注意されました。発声練習などをたくさんしたり、パートごとに歌ってみたり、放課後も残って練習しました。部活動にも遅れて行くことが多くなり、新井先生も教室にわざわざ教えに来てくれることもありました。
アリーナで歌った合唱祭は初めてのことで、感覚がなかなかつかめなくて難しかったです。いざ本番となると、とても緊張してしまいました。しかし、歌い始めてから緊張がほぐれて、あっという間に終わりました。この合唱祭、私が初めて味わった達成感でした。

合唱祭について

B組 山本 明

この合唱祭は、小学校とは違って、年上の2、3年生の先輩と争う、1年間の中で最も大きな行事でした。
合唱祭の練習を始めたばかりのころは、皆笑ってふざけていたりして、なかなか練習できませんでした。特にテノールはふざけている人が多く、周りにちょっかいを出したりして、全然練習が終わりませんでした。しかし、A組との合同授業で、B組よりも完成していた合唱に皆焦りを感じました。合唱祭が近づくにつれ、B組もちゃんとやる人が増えてきました。最後までふざけている人がいたり、当日は自分も緊張して声が出なかったりしたけれど、始めたころよりきれいな合唱になっていたの安心しました。



B組

学年だより 中2

合唱祭を終えて

今年も合唱祭が実施され、本番に向けた練習ではさまざまなドラマが生まれました。生徒同士の葛藤、思うようなハーモニーが出ないことへのいら立ち、練習方法の工夫など、多くの困難を乗り越えなければならなかった1カ月余りの練習期間。そして、最終的にはそれぞれのクラスの持ち味が出た結果となったのではないのでしょうか。合唱祭練習期間の思い出をつづってもらいました。

合唱祭で学んだこと

A組 高島 佳樹

今回の合唱祭ではクラス全員で一致団結して合唱をし、目標の金賞には届きませんでしたが、銀賞を受賞することができました。うれしかったです。今回の合唱祭の練習で僕が学んだことは、「みんなで楽しく練習する」ということです。僕は合唱祭係になったので、他の係のメンバーと一緒に、「これからどういうふう練習していこうかな」と考え、計画を立てました。しかし、最初の頃はみんなの行動が勝手になりすぎてしまい、自分たちがクラスをまとめなければならないのに先生に手助けをしてもらったり、怒られたりすることがよくありました。しかし、「係の人が楽しくないと、みんなも楽しくならない」という案が出て、まずは「自分たちが楽しくやろう」という考えに変わっていききました。練習が楽しくなり、だんだんとクラスがまとまってきて、うれしかったです。来年の合唱祭でも今年のようにしていけたらよいと思います。

合唱祭について

B組 下津 伊吹

今回の合唱祭の練習は、始めたばかりのときは全員が揃って練習できなかつたり、気持ちが揃わなくて不安でした。しかし、練習を積み重ねるごとにだんだんとまとまって、歌声が揃うようになりました。朝早く集まったり、放課後に集まったりとみんな真剣に練習しました。
僕たち2年B組も十分に練習をしてきましたが、合唱祭の当日は他のクラス、学年の人たちも練習の成果が出た素晴らしい歌声を聞かせてくれました。
今年は僕のクラスは賞をとれなかったのですが、クラスメートは変わってしまいますが、来年はクラスメートで力を合わせて金賞をねらいたと思います。



2Aの合唱



2Bの合唱

学年だより 中3

☆最後の合唱祭☆

3年生にとっては、泣いても笑っても最後となる合唱祭が行われました。これまで中等部に入学してから2回の合唱祭を経験している3年生には、さまざまな思いがあったようです。山あり谷ありで本番を迎えました。

～3年A組 君とみた海♪～

- ♪ 僕たちは銅賞でした。しかし、僕たち3年A組は銅賞を誇りに思っています。そのわけは、練習してきた1カ月にいろいろなことがあったからです。(伊王野 莉恩)
- ♪ どんどん練習するうちに、本当にみんな成長することができました。だから、自分の中では金賞だったと思ったので、あまり後悔はありません。最後の合唱祭をこのクラスでできて本当に良かったです。(鶴飼 美音)
- ♪ すべて出し切りました。だからこそ銅でもすっきりした気持ちになれたと思います。3年間で一番良かったと思うほどです。記憶に残る日になりました。(河野 鷹通)
- ♪ 本番、歌声が審査員の先生たちに届くか不安でした。指揮者のお陰でピアノに合わせることができて、最後の大サビできれいにハモることができました。(福島 さゆり)
- ♪ 足がガタガタ震えるほど緊張していました。こんなに緊張することは今までなかったかもしれません。(堀口 悠介)



～3年B組 大地讃頌♪～

- ♪ 今回の金賞は、練習の時にみんなを引っ張ってくれたパートリーダーと、ふざけたときに叱ってくれた阿部君のお陰だと思います。(加藤 真裕)
- ♪ ステージに立った時に足が震えていました。歌い終わるまでずっと緊張していたので、自分が思うようには歌えませんでした。でも金賞が取れました。それは練習などでみんなで協力したからだと思うし、みんなにはとても感謝しています。(河崎 恭大)
- ♪ 最初は音程が全然取れなくて、みんなバラバラでした。いつも練習の時につまずいてしまうので、家で曲を聴いて覚え直しました。すると、練習の時でもみんなと合うようになりました。他のパートもとても上手になり、本番を迎えることができました。(橋本 由衣)
- ♪ 皆がそれぞれの想いを持ち、この合唱祭に臨みました。その想いを精いっぱい、歌や指揮、ピアノに注いだからこそ、3冠を取ることができたのだと思います。(田爪 愛里)
- ♪ 何度も練習していくうちに音程も強弱ができてきて、だんだん自信がついてきました。本番前最後に歌ったときは全体的にとっても上手になり、少し感動しました。(佐々木 里佳子)



学年だより 高1

建学祭②

前号に引き続き、10月10日(土)、11日(日)に開催された建学祭の特集です。今号は、6組～10組の建学祭委員の感想です。工夫を凝らしたパフォーマンスの様子を、写真とともに楽しみください。

建学祭を終えて

6組 杉山 瑞華

初めて建学祭をやってみて、各クラスの個性が出ていてとてもよかったのと、部活動での出し物が素晴らしいなと思いました。私も吹奏楽部でのステージをやって、目の前でお客さんが楽しんでくれたので、演奏してよかったと思いました。来年もたくさんの人に最高の演奏と演技を届けたいです。また、今年の反省を生かして出し物を考えていきたいです。

映像クイズ

7組 渋谷 雄貴

僕たち7組は映像クイズをやりました。準備や装飾などすごく大変だったけれど、クラスみんなで協力してできたので良かったです。実際に映像クイズをやってみて、自分が思っていたよりもお客さんが来てくれてうれしかったです。この建学祭を通じて、もっとみんなと仲良くなれたし、クラスの団結力が深まって良かったです。

一味違った建学祭

8組 中里 有沙

今回の建学祭は、たくさんの方が来校されて、各クラス・各部活動の出店・企画・パフォーマンスにより大成功に終わりました。実行委員の仕事は初めてで、思っていたより大変でした。今年は数年ぶりに前夜祭が行われ、たくさんの生徒が参加し、前年度とは一味違った建学祭になったと思います。私にとって初めてのことが多く、心に残る建学祭でした。

たくさんのありがとう。

9組 馬越 菜帆

「よし、やろう」、そう言ってみただけで、建学祭が初めての私たちにとって、何から始めればよいのかわかりませんでした。そんな中、準備期間に入りさらに忙しくなっていました。でも、クラスの人たちが積極的に手伝ってくれたことで、思っていた以上のものができました。クレープは完売です。力不足な実行委員についてきてくれてありがとうございました。

高校初の建学祭

10組 原田 雅彦

10組は、夏休み中に4、5人の班でそれぞれ企業に行き、そこで聞いた話をポスターにまとめてお客さんにプレゼンテーションをしました。1日目は、緊張して所々囁んだり、言葉に詰まったりしましたが、2日目にはしっかり説明できたので良かったです。今回のプレゼンも面白かったけれど、来年は他のこともやってみたいです。



クラスTシャツも凝っています



ポスター発表は大盛況



8組のオリジナル映画



クレープはいかが？



6組でゲームのミッション

学年だより 高2

建学祭

10月10日(土)、11日(日)の2日間にわたり、建学祭が執り行われました。心配された天気の方も生徒諸君の思いが勝り、両日とも秋空のもと、約6,000名の来場者の方々と楽しいひとときを過ごすことができました。

今回は、各クラスの建学祭出展団体責任者に話をうかがいました。

- 1組 赤坂 真優** 1組は朗読を行いました。絵本の朗読や怖い話、恋の話などを声に出して読み、お客さんに聞いてもらいました。準備をする中で、協力がないと何も進まないことや、一から作り上げることの難しさを学びました。同時に、お客さんの表情を見て、皆と作り上げる達成感や充実感も味わうことができました。
- 2組 飯塚 真央** 私たちのクラスは部活動で忙しい人が多く、順調に準備ができるか不安でした。しかし、暇を見つけてクラスに協力してくれて準備も終わり、建学祭当日を無事に迎えることができよかったです。
- 3組 郷田 力哉** 最初は皆のスケジュールがなかなか合わず、動画撮影が難しかったのですが、なんとか協力して完成することができました。当日、教室に足を運んでくれた方々が、笑いながら観てくれたのでうれしかったです。
- 4組 網野 衣里** 私は今回の建学祭ではクラスTシャツ作成から関わり、とても良い物ができたと感じています。準備日を含めて4日間、クラスの皆と過ごした時間は、とても楽しく大切なものになってよかったです。
- 5組 廣澤 愛美** 私のクラスは縁日を行いました。2日という短い期間の中でしたが、クラス一丸となり、建学祭を盛り上げることができました。準備を急がず立て込んでしまったことが反省点です。来年度はその点に注意したいと思います。
- 6組 和澄 晃太** 今年の建学祭も大変有意義で、楽しい時間を過ごせたと私は思います。今年で2回目というもあり、昨年とはまた違うものを体験できたので、とても良い思い出になりました。来年は模擬店ができるので、今年よりもっと楽しい思い出を作りたいです。
- 7組 小磯 涼太** 私たちのクラスは建学祭に向けてたくさんアイデアを出し合い、楽しい建学祭にすることができました。準備が終わるか不安でしたが、皆で一致団結して、最後までやり遂げることができました。
- 8組 小宮 充幹** 今回の建学祭では縁日を出店しました。輪投げ、ストラックアウト、トランプ、ボウリング、どれも準備は簡単ではありませんでした。私はボウリングを担当して、たくさんのこだわりを持って準備に精を出しました。
- 9組 鈴木 杏奈** 最初はクラスがまとまらず、作品提出日が過ぎても皆バラバラでした。しかし、最後になり、皆で手を取り合って完成することができました。9組のメンバーでやり遂げてよかった。みんなありがとう。
- 10組 田口 隼平** 私たちのクラスは、自分たちらしいことをしようと思い、科学を駆使した遊びと駄菓子屋さんをモチーフにした縁日を企画しました。当日は多くのお客様が来てくださり、また、何度も来室して下さる方もいて大成功でした。



日本語ディベート大会より



学年委員による研修旅行発表



接客の合間に(6組)



接客中(5組)



接客中(2組)



接客中(8組)

学年だより 高3

建学祭 Step ②

建学祭 クラス出店 建学祭最後の出し物をクラスごとに紹介!



1組 SMG(スムージー)

ここまでクラスのために行動したことはありませんでしたが、今回の建学祭で先生方のクラスをまとめる大変さを強く感じました。

榊 輝久



2組 soup bar in 3-2

私たちはすべて手作りでミネストローネを作りました。うまくできるか心配でしたが、2組みんなで作ったミネストローネは最高でした。

吉田 美生



3組 俺たちのチョコバナナ

フィリピンの奥地に存在するまぼろしの島を再現しました。団結して一つの物事を成し遂げる大切さを知りました。

遠藤 岳



4組 オクトタム!!(たこ焼き)

団結力という点では学年一だと思いません。作業中は笑顔が絶えず良い雰囲気、私たちにあってクラスをさらに知ることができた良い機会でした。

新井 匠



5組 金祭2015 thanks to 野口 (手作りもち)

餅つきは前例がなく、終始慌ただしかったけれど、その困難に全員で立ち向かったことは、何年先も語り合える思い出になると思います。

水谷 友哉



6組 HOT STONE~誠のきまぐれ フレンチキッズ~(フレンチトースト)

高校生活最後の建学祭、全員が協力をして成功することができました。充実した4日間となり、思い出に残る建学祭になりました。

青木 彩也香



7組 本当はチョコバナナがやりたかった わたがし屋さん

初めての模擬店はトラブルが多くなってしまいましたが、皆の協力によりクラスが評価され、大事な思い出の一つとなりました。

大川 真弥



8組 てっちゃんのポップコーン

皆のアイデアや協力が光る建学祭でした。ポップコーンの模擬店では各々楽しみ、成功を取めることができよかったです。

吉岡 瑞季



9組 ナンとうまいカレー屋

私たち3年9組はカレーとナンをセットで販売しました。材料はシンプルでしたが、おいしいと好評で大変よかったです。

渡邊 光

★本号の紙面作成は尾前隼士(5組)が担当しました

TOKAI キャンパスメッセージ

ソーシャルワークの領域は広がっている！

東海大学健康科学部社会福祉学科 主任 堀越 由紀子

社会福祉と聞いて連想するのは何!? 高校生に質問すると、必ず返ってくるのが、ボランティア、高齢者施設、介護…といった回答。病院、刑務所、学校、団地…なんて答える人はほとんどいません。でも、これらはとても重要な社会福祉のフィールドです。

病院で、最期の時間をどんなふうに誰と過ごしたいか、末期がんの患者さんと話し合う。刑務所で、犯罪に手を染めた人が刑期を終えたとき、地域にちゃんと戻れるような手伝いをする。学校から出て、登校できない(登校しない)子供と家族を訪ねて相談に乗る。団地の空室にカフェを開いて、認知症

の人も子育て中のママも、誰も独りぼっちにならないように居場所づくりをする。これらは社会福祉の仕事です。ご存知でしたか?

もう一つ質問。社会福祉を学ぶのに適した人って!? 返ってくるのはたいがい優しい人という答えで、これは半分正解。優しいだけじゃダメなのです。まず、社会福祉には人間と社会に関する幅広い理論・知識が必要です。医学、心理学、社会学、法学、実践の根拠を証明するために統計学だって勉強します。ちなみに、社会福祉士という国家資格試験は合格率が30%を下回る難関。それから、カウンセリングや人間関係調

整、組織運営や住民組織化といったスキルも身につけなければなりません。

社会福祉の専門実践をソーシャルワーク、実践家をソーシャルワーカーというのですが、昔から“warm heart, cool head, and good skill”つまり、共感性・受容力、論理力・判断力・実証力、そして対人支援の熟練技能が必要とされてきました。だって、人の心のケアから暮らしのケアまで、ひいては地域づくりまでが守備範囲なのです。その点、東海大学は多様な学問領域を有する総合大学ですので、社会福祉の学びや研究にはうってつけだと、私は考えています。

ソーシャルワーカーを目指して

東海大学健康科学部社会福祉学科3年(高輪台高校2013年3月卒業) 江崎 友也

私は、高校在学中はSSHクラスの所属で、当初は理数系の進学先を考えていました。しかし、社会に関することが好きだったということや、人にかかわることをしてみたいという思いが湧き、健康科学部社会福祉学科へ進学しました。

今、目標にしているのは、社会福祉の専門国家資格である社会福祉士を取得することで、卒業後は病院でソーシャルワーカーとして働きたいと考えています。3年生となった今年の夏休みには、

実際に病院での実習を行いました。病院のソーシャルワーカーは、主に患者さんの入院生活や退院後の生活に関するさまざまな相談に応じ、その人に合ったサポートを考えることが役目です。そのため、何回もの面接やかかわりを通して、患者さんの人柄や気持ち、暮らしの背景を理解することに努めました。

一人ひとりの患者さんと時間をかけて向き合っていく姿勢は、SSHクラスでの課題研究に通じるものがありました。実習で向き合う相手は患者さんと

いう「人」であり、課題研究で向き合うのは研究材料という「物」でした。しかし、相手が人でも物でも、根気よく向き合っていく姿勢はとても大切で、SSHクラスでの経験が役立っていると考えています。

これからも、高校時代にSSHクラスで学んだこと、そして大学での実習で学んだことを生かして、社会福祉士の取得とソーシャルワーカーとしてのキャリアを目指し頑張っていきたいと思っています。



卒業生江崎君



実習の様子



伊勢原校舎

SSH活動報告



東海大学は世界中の国々、大学と交流をしていますが、ロシアとも古くから交流を持っています。1973年にはモスクワ国立大学と学術交換協定を締結し、ガスプロム教育センターとは2008年に協力合意書を締結しました。この締結を受けて、2009年10月にガスプロムの本校訪問を手初めとして、毎年交流を重ねてまいりました。SSH活動としては、スカイプを用いて研究内容を発表してきました。今年度はスカイプでの交流の他に、9月に片桐校長を団長として、本校、付属翔洋高校、付属浦安高校から生徒各校3名、教員各校1名の計12名がガスプロム高校を訪問し、文化交流をしてきました。また、10月には、ロシアから20名が本校を訪れ交流を行いました。

ロシアを訪問して

3年9組 藤井 崇史

私は、ロシアとの国際交流を行って、日本では味わうことのできない大変貴重な体験をすることができました。日本との文化の違いや語学以外のコミュニケーションの取り方を学ぶことができました。どの建築物の壁にも彫刻が施されており、景観を美しくする方法がとられていました。さらに、伝統を重んじ記念日などを大切にしており、さまざまなところで文化を感じられました。コミュニケーションは、双方とも母国語ではない英語で行いました。お互いに理解し合うことができ、語学力が向上できたと思ひ、とても満足しています。しかし、英語であっても必ずしも伝わるとは限らず、ジェスチャーなどの言葉以外の伝達方法を用いることも大切でした。実際にその国に行き、肌で感じたことで自分の世界観を広げることができ、とても内容の濃い交流でした。このような機会をつくっていただいた皆さんに感謝したいと思います。



折り紙を通して交流しました

ガスプロム校とのスカイプ交流

3年9組 小松 知広

ロシアのガスプロム教育センターの生徒とスカイプを通じてお互いの研究を発表し合いました。交流は無事行われましたが、私はロシア人と初めて会話をしたので、彼らの表情があまり変わらないことに戸惑いを感じていました。しかし、発表が終わってから表情や語調が軟らかくなったのを見ると、集中していただけだったようでした。交流前は不安でしたが、宗教も文化も言葉も異なる彼らと会話するということは、あまり各々の違いに関係なく、面白く興味深いものであると発見しました。今回のように、貴重な体験の中で得た経験や発見を、将来につなげていきたいと改めて感じられた交流でした。



全校生徒の前で「モスクワ郊外の夕べ」を合唱してくれました

歓迎! 新潟県立新発田高等学校御一行

昨年10月24日に新潟県立新発田高等学校の2年生5名が来校し、SSH成果報告会に参加しました。本校と新発田高との交流は昨夏に行われた同校主催の「ESD※フォーラム」(於:新発田市文化会館)に3年9組の平賀絹子さん他4名をご招待していただいたところから始まりました。当日は2時限の歓迎交流会で自己紹介とミニゲームを行い、3時限の「科学文明論II」では「直感に頼らない数学的思考」と題したプレゼンテーションを披露してもらいました。午後にはポスター発表会があり、課題研究について情報交換を行いました。

※Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育)



フォーラムに参加した生徒5名と新発田高の皆さん

お知らせ

チャレンジ検定!

漢字検定 1月15日(金)

数学検定 1月16日(土)

英語検定 1月23日(土)

行事予定

January 1月

- 6日(水) 新春懇親会
- 7日(木) 朝礼[正制服] 短縮授業
- 10日(日) 中等部学校説明見学会(5回目)
- 11日(月) 成人の日
- 14日(木) 学年集会(中2、高2)
- 15日(金) 漢字検定(希望者)
- 16日(土) 数学検定(希望者)
- 19日(火) 校医相談日⑨
- 20日(水) 中等部入学試験願書受付
第1回(~1/30)・第2回(~2/2)・第3回(~2/4)
専門医によるカウンセリング⑤
- 21日(木) 生徒による授業評価アンケート④
生徒による学校評価アンケート②
- 22日(金) 高校推薦入学試験
生徒自宅学習日
Tokyo Sightseeing Tour(中1)
- 23日(土) 高校推薦入学試験合否発表
英語検定(中等部:3、4時限)
- 28日(木) 卒業試験(中3~30日)
特別時程(中2、中3、高校 ~30日)
オリンピック教育講演(高1、1時限)
- 30日(土) 特別講座終了(高3)

February 2月

- 1日(月) 中等部第1回入学試験 生徒自宅学習日
- 2日(火) 中等部第1回入学試験合否発表
- 3日(水) 中等部第2回入学試験 生徒自宅学習日
- 4日(木) 中等部第2回入学試験合否発表 答案返却日(中3)
- 5日(金) 中等部第3回入学試験 生徒自宅学習日
- 6日(土) 中等部第3回入学試験合否発表
- 8日(月) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
- 9日(火) 水曜日の授業
- 10日(水) 高校一般入学試験 生徒自宅学習日
- 11日(木) 建国記念の日
高校一般入学試験合否発表
- 14日(日) 新1年制服採寸・教材販売(中等部・高校推薦)
オーストラリア海外英語研修(中3 ~23日)
- 16日(火) 中等部特別時程 校医相談日⑩
基礎力判定テスト②(高2、5教科)
高校1年スポーツ大会(アリーナ)
- 17日(水) 専門医によるカウンセリング⑥
- 19日(金) 基礎力判定テスト②(高1、5教科)
高校2年スポーツ大会(アリーナ)
中等部特別時程
- 26日(金) 振替休日(中3)
- 28日(日) 中等部新入生・保護者登校日(10:00~)
新1年制服採寸・教材販売(付属・一般)
- 29日(月) 登校日(高3)

編集後記

新しい年がスタートした。今年の干支は丙申、「形が明らかになってくる」、「実が固まっていく」年のようである。今やっていることが自分にとって何なのか、何を目的に頑張っているのか、きちんと見直してみてもうだろうか。新たな発見、それをきっかけに新たな道や目標ができるかもしれません。「一年の計は元旦にあり」という言葉の通り、その年に為すべきことは元旦に計画を立てることが大切。今年は何んな年になるのでしょうか。明るく元気に過ごせる一年になったらいいなと思います。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>